

	<h1>12月の障害者週間にあわせた</h1>		事前のお知らせ
	<h2>3大イベントを開催！</h2>		
とき	① 障害者フェスティバル 12月3日(土) 午前10時～午後3時 ② 障害者福祉大会 午前10時～午前10時50分		
	③ 障害者ふれあい作品展 12月7日(水)～11日(日) 午前10時～午後6時(11日は午後3時まで)		
ところ	①② 光が丘区民センター、光が丘公園ふれあいの径(光が丘2-9-6) ③ 練馬区立美術館(貫井1-36-16)		
区は3日から9日の障害者週間にあわせて「2016 障害者フェスティバル」と「第40回障害者福祉大会」および「障害者ふれあい作品展」を開催する。 全て入場無料。各イベントの概要は、以下のとおり。			

【2016 障害者フェスティバル】(会場：光が丘区民センター)

障害のある方に対する理解や認識を深めることを目的に、障害者週間にあわせて開催している。毎年約1,500人が来場する人気イベント。

今年のテーマは、『みんなのえがおでつながる未来』。

社会福祉法人未来・ねりま ねりま事業所(豊玉中4-14-6 社会福祉法人みらい練馬(大南英明理事長)運営)の浅井瑞絵(あさいみずえ)さんを実行委員長とし、障害者福祉に関わる区民や関係者の皆さん(53人)が実行委員となって、企画・準備を進めてきた。

当日は、区内53の福祉団体・施設が参加。舞台発表では手話コーラスやピアノ演奏など日ごろの練習成果を披露する。また、障害のある方が制作した作品の展示や47の模擬店が並び、「織物製品」や「パウンドケーキ」などの自主製作品をはじめ、「すいとん」や「焼きそば」などを販売する。

その他アトラクションとして、健康チェックコーナーなどを設置する予定。

各会場には手話通訳や要約筆記を配置し、障害のある方とない方が気軽にふれあい、交流できる場となる会場づくりを心掛けている。

【第40回障害者福祉大会】(会場：光が丘区民センター)

地域で活躍している障害のある方や、障害者福祉の向上に寄与した方を表彰する。障害者福祉の向上に功績のあった方8人と、リオデジャネイロ・パラリンピック出場者(2人)を含む地域活躍者3人の計11人を表彰する予定。



【障害者ふれあい作品展】(会場：練馬区立美術館)

12月7日(水)～11日(日)に開催。

区内の障害者施設の利用者などが制作した絵画や陶芸など、230点を超える個性豊かな作品を展示する予定。

年々展示数が増えており、今年で6回目を迎える人気企画。入場無料。

【左：昨年の様子】